

自立循環型住宅 評価結果

■評価マニュアル：自立循環型住宅への設計ガイドライン

■評価ソフト：自立循環型住宅 評価ソフト Ver. 1.8

■評価者：

1-1 建物概要

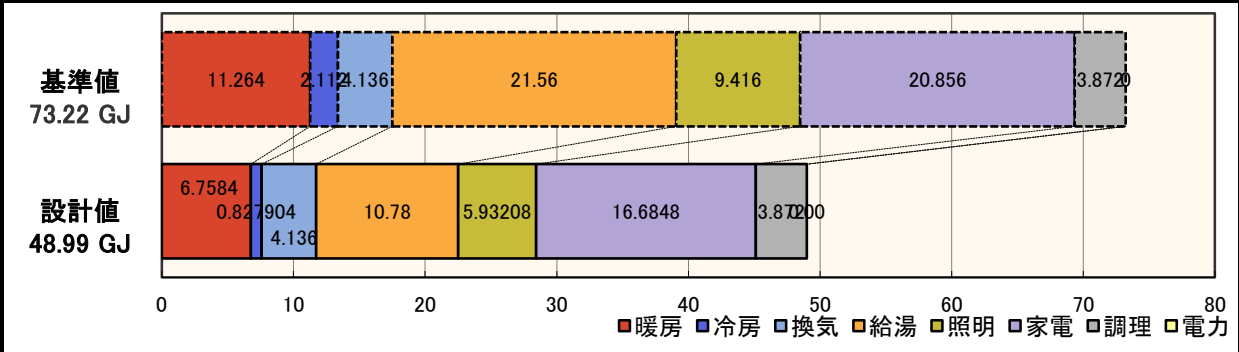
■建物名称	
■竣工年月	
■建設地	
■気候区分	IV地域 比較的暖かい地域
■敷地面積	
■延床面積	
■家族構成	3人(夫婦+子供)
■暖房方式	部分間欠暖冷房

1-2 建物写真



2-1 省エネルギー性能 (GJ)

エネルギー削減率 33.09 %

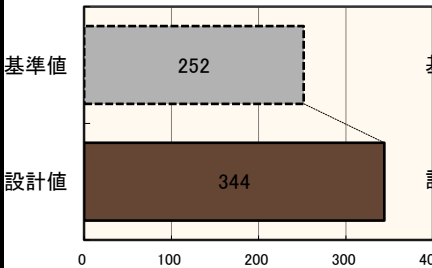


2-2 経済性能

単純償却年数 15.33 年

イニシャルコスト 92.5万円 増

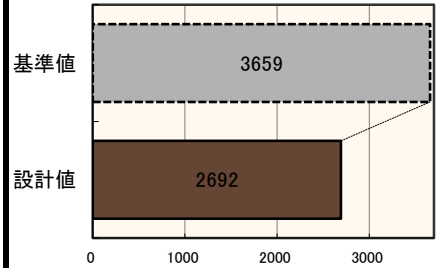
ランニングコスト 6.0万円/年 減



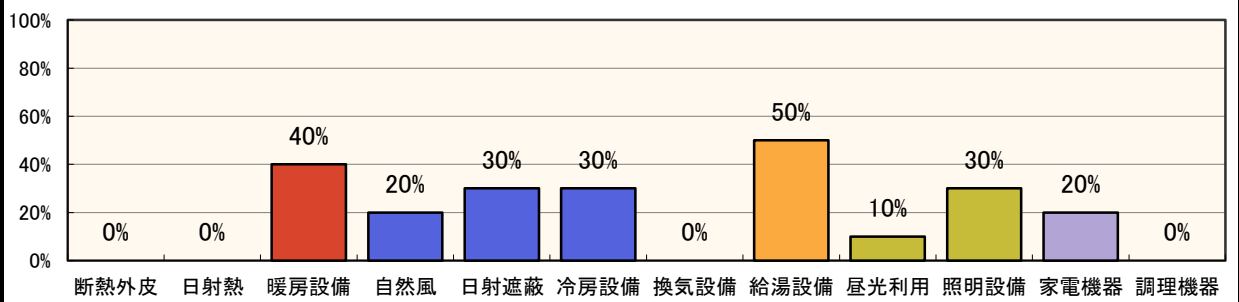
2-3 環境性能

26.43 %

CO2削減量 967kg-CO2/年 増



2-4 各項目の削減率



3 設計上の配慮事項

1.暖房	断熱外皮計画	土壁で蓄熱
	日射熱の利用	土間を三和土(土)で仕上げ、蓄熱床とした
	暖房設備計画	薪ストーブ
2.冷房	自然風の利用	直接的手法+温度差換気+室内風向上
	日射遮蔽手法	普通複層ガラス、庇、軒、西面の窓なし
	冷房設備計画	エアコン採用せず、通風のみ
3.換気	換気設備計画	
4.給湯	給湯設備計画	太陽熱一体型給湯システム
5.照明	屋光利用	吹き抜けによる導光、居室2面採光
	照明設備計画	
6.家電	高効率家電機器	
7.その他(調理)	調理機器	
8.電力	太陽光発電	

※評価は自立循環型住宅への設計ガイドライン(財団法人 建築環境・省エネルギー機構)を基本に、家族構成、気候区分、暖房方式の基準値を独自に定めたものです。